

OITA UNIVERSITY ENVIRONMENTAL REPORT 2020 DIGEST

The title is rendered in large, bold, black letters. Each letter is filled with a different environmental or scientific image: 'O' is a hot spring, 'I' is a wind turbine, 'T' is a water tap, 'A' is a bird, 'U' is a beaker with orange liquid, 'N' is a blue water drop, 'I' is a green water drop, 'V' is a blue water drop, 'E' is a green water drop, 'R' is a blue water drop, 'S' is a purple water drop, 'I' is a pink water drop, 'T' is a pink water drop, 'Y' is a pink water drop, 'E' is a green water drop, 'N' is a green water drop, 'V' is a green water drop, 'I' is a green water drop, 'R' is a green water drop, 'T' is a green water drop, '2' is a green water drop, '0' is a wood cross-section, '2' is a green water drop, '0' is a blue water drop. The word 'DIGEST' is in a smaller font to the right of 'REPORT'.

大分大学環境報告書2020

 ダイジェスト版



学長からのメッセージ 環境報告書2020の刊行にあたって

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、いまだ終息がみえない状況にあり、日本を含め、世界中の国々において社会生活や経済活動に甚大な影響を与えています。本学においても、休校や対面授業の制限、医療材料不足等による診療制限などで大きく影響を受けました。また、近年様々な自然災害が我が国を襲い、今年も「令和2年7月豪雨」が大分はもとより各地で土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ大きな被害が出ました。今回の災害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今回の災害において本学は、災害・復興デザイン教育研究センター (CERD: サード) や医療支援DMATを被災地に派遣し支援活動を行いました。年々深刻さを増している自然災害と地球温暖化の影響は密接に関わっていると考えられており、温室効果ガス削減に関する国際的取り決めを話し合うCOP21で合意されたパリ協定に基づき、日本では、中期目標として、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することが目標として定められました。この目標は容易に達成できるものではありませんが、脱炭素社会に向けた社会全体の努力が必要です。本学では、「地球環境問題が21世紀における人類の重要課題の一つであるとの認識に立ち、教育、研究、診療に伴うあらゆる活動において、環境負荷の低減に努め『環境に貢献する大学』として、基本方針に沿った活動を継続的に行う。」を環境基本理念とし、環境方針に基づいた環境負荷削減目標を定め、エネルギー消費節減に向けた意識の涵養を図るなど積極的に取り組んでいます。



本報告書は2019年度に実施した様々な環境配慮の取組を教育や研究、省エネルギーに取り組んできた実績と併せて環境に関する様々な取り組みをまとめたものです。今後も本学では、大学全体として環境に関する取り組みを継続的に実施していきたいと考えております。今日の報告につきまして多くの方々のご意見をいただければ幸いです。

国立大学法人大分大学 北野 正剛

環境方針

基本理念	大分大学は、地球環境問題が21世紀における人類の重要課題の一つであるとの認識に立ち、教育、研究、診療に伴うあらゆる活動において、環境負荷の低減に努め、「環境に貢献する大学」として、基本方針に沿った活動を継続的に行う。
基本方針	<p>環境管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事(総務・財務・広報担当)を総括責任者とする環境マネジメント対策推進会議及び省エネルギー推進委員会の充実・強化 省エネルギー推進委員会と各キャンパスワーキンググループとの連携、調整による環境管理体制の充実・強化 <p>環境負荷の少ないキャンパスの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出の削減 グリーン購入の推進を継続 化学物質の安全管理の徹底 省エネルギー、省資源の推進 廃棄物の削減と排水の適正な管理 環境負荷を低減させるための設備投資 <p>環境研究の推進と環境教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学の重要研究推進分野である「環境科学領域」等の環境に配慮した研究の推進 大学や附属学校での環境教育の実施 <p>地域社会への協力・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境行政に対して専門的な立場からの協力・支援 市民や企業の環境意識の向上及び取組への支援

環境マネジメント体制

本学の環境マネジメント体制は次のとおりで、相互に情報を共有することで、環境整備の推進及び環境負荷の削減を進めています。

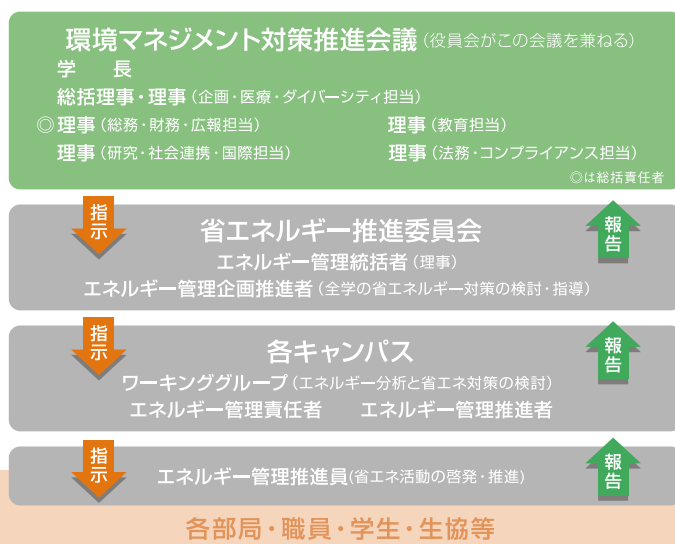
1. 環境管理体制

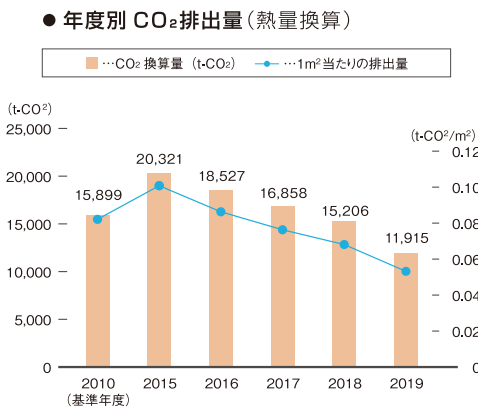
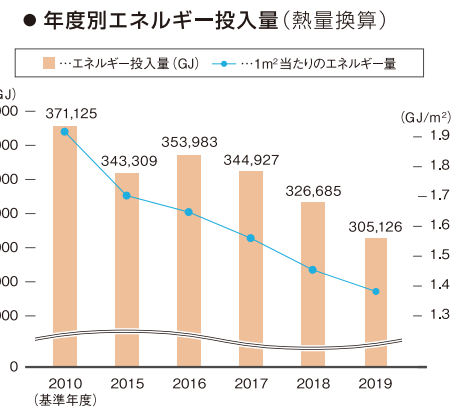
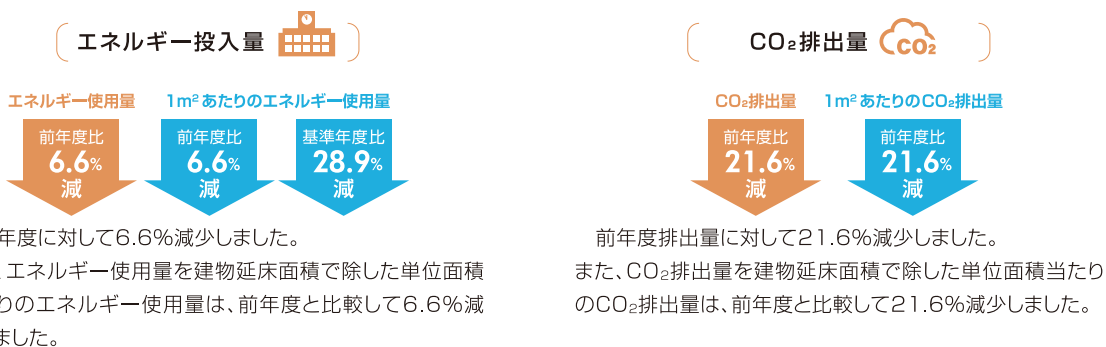
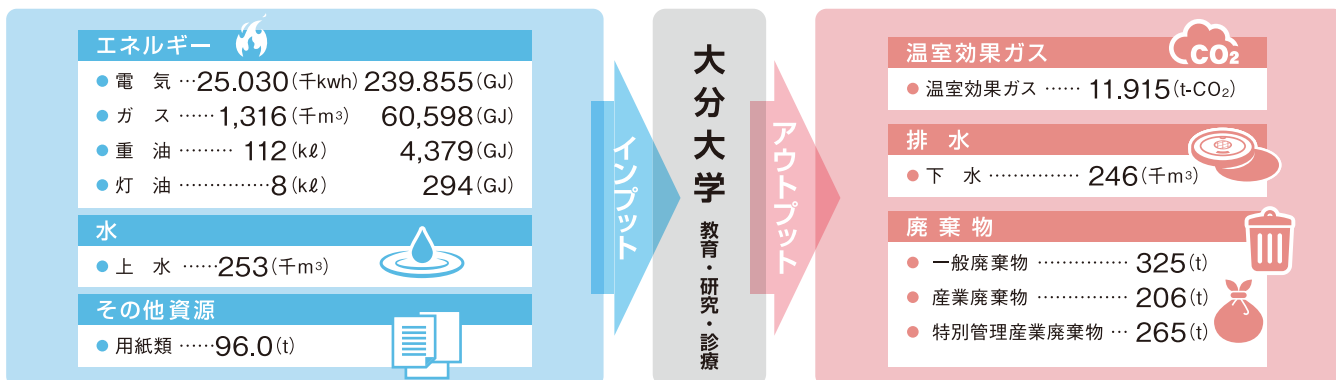
2012年度より、学長と各担当理事で構成される環境マネジメント対策推進会議で環境報告書を作成する体制をとりました。このことにより、各担当理事の責任の下、より充実した環境報告書を作成することを目指します。

2. 省エネルギー管理体制

理事(総務・財務・広報担当)をエネルギー管理統括者に置き、部局ごとにエネルギー管理責任者・推進者・推進員を配置しています。

各キャンパスで、エネルギー管理責任者・推進者を中心とするワーキンググループを開催し、エネルギー分析と省エネ対策を検討の上、省エネルギー推進委員会で全学の省エネルギー対策や指導を行い、環境マネジメント対策推進会議へ報告することにより、大学全体の省エネルギー管理を進めています。

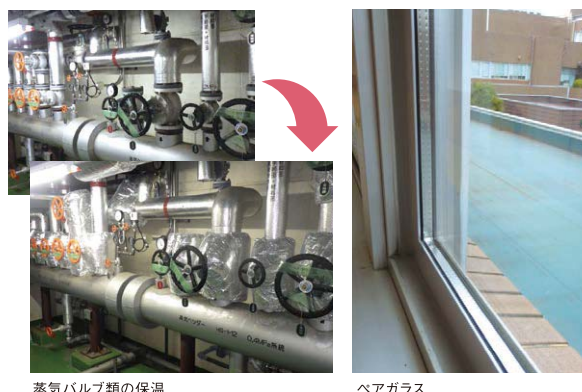




附属病院

省エネルギー支援業務(株式会社テクノ工営)による次の省エネ運転実施内容により電気・ガス共使用量抑制に効果がありました。また、2019年度は外来棟東側の改修工事に伴い、窓ガラスは省エネ効果が高いペアガラスを採用し、整備しました。

- 蒸気バルブ類の保温
- 貫流ボイラ運転台数の最適化
- 給湯システムの最適化
- 空調機、排風機運用の最適化 (外来診療棟・東病棟・西病棟・新病棟)
- 外調機給気温度の変更
- 熱源温水送水温度の見直し
- 温熱源台数制御設定の見直し



蒸気バルブ類の保温

ペアガラス

児童生徒に対する環境教育

教育学部附属特別支援学校における『作業学習』での取組

中学部では、道徳の授業で校外の清掃作業に取り組んでいます。近隣の校園や道路のゴミ拾いや校内駐車場の落ち葉拾いなどを行っています。また、ものづくり作業（裂き織）では、寄付していただいた古布を材料に、「コースター」や「センターラグ」等の製品作りに取り組んでいます。



環境教育の実施状況

教養教育科目における取組

教養教育科目の中に「福祉・地域」の主題を設定し、この主題等で環境教育に関連した以下の科目を設定し地域環境や地域づくりについて理解を深める講義を展開しています。

特徴的な科目としては、大分大学に事務局を置くNPO法人「大分水フォーラム」の取り組みを生かした「大分水Ⅰ」「大分水Ⅱ」があります。大分県内の水辺を題材として、その自然環境や実際にそこで生活する人々や生業について、教室での講義と地域体験実習を組み合わせ、実態的に理解を深める授業を展開しています。「大分水Ⅰ」では100年後に朱鷺が飛来することを目指して地域の生物多様性を保ちつつ稲作を行っている竹田市岡本地区での田植えや害獣対策の電柵設置を、「大分水Ⅱ」では同地区での稲刈りや「アジア太平洋水サミット記念県民フォーラム」への参加などを行っています。地域体験実習では地域の指導者との交流に加えて学生相互の学びあいも展開し、学生の社会性を向上させると共に地域課題を肌で感じる機会を持ち、専門科目での学習へとつなげる工夫を行っています。

また、地域の水辺から大分県、さらにアジア・太平洋地域にまで視野を広げ、地球規模での共生社会について実態的に理解を深めるとともに、循環型社会やSDGs（持続可能な開発目標）などについても考え、行動化することを目指しています。



本冊の環境報告書は、大分大学ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

<https://www.oita-u.ac.jp/webpamphlet/kankyohokoku/2020/>

報告書対象組織：●旦野原キャンパス（教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部等）●狭間キャンパス（医学部、附属病院等）
●王子キャンパス（附属学校園）、別府職員会館、国際交流会館、大学全キャンパス等を補足（職員宿舎等を除く）

報告対象期間：2019年4月～2020年3月

発行日：2020年9月

連絡先：国立大学法人大分大学 <https://www.oita-u.ac.jp>（財務部施設管理課・施設企画課）
〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1丁目1番地
TEL 097-586-5352 / FAX 097-586-5319 / E-mail denki@oita-u.ac.jp